

# 社友会だより

## 第 6 号

発行 センツウ社友会  
 住所 東京都港区赤坂 2-4-5  
 〒107-0052 (国際赤坂ビル 3F)  
 ドコモ・センツウ株式会社内  
 編集者 大場省平

### \* 社友会定期総会日程が決定 \*

7 月 30 日 (土) 銀座ラフィナート

平成 16 年度、社友会定期総会は平成 17 年 7 月 30 日 (土曜日)、午前 12 時から東京銀座ラフィナート (旧京橋会館) で開催されます。

受付は、11 時 30 分から開始、12 時から総会開始、出席者全員による集合写真撮影の後、12 時 30 分から懇親会を予定しております。

総会出席者は年々増加しており、昨年は、73 名の方々がご出席いただき、総会及び懇親会は大変盛況でありました。今年は、80 名以上の方々のご出席が見込まれるものと思っています。

なお、総会のご案内は、6 月中旬に事務局から郵送予定です。是非多くの方々のご出席をお待ちしております。

### \* 新会員紹介コーナー \*

平成 17 年 2 月末現在、新しく入会されました方々を紹介いたします。(社友会所属地域名)

平成 16 年	8 月	勝田 進さん	中央
	9 月	古家 正さん	関西
	10 月	尾花 博さん	中央
	10 月	本波 勲さん	中央
	11 月	原口桂典さん	九州
	11 月	濱本康司さん	九州
平成 17 年	1 月	鈴木 徹さん	中央
	1 月	金重 寛さん	九州
	1 月	藤野勝次さん	中央

以上、9 名の方々です。

### \* 会社情報 \*

釧路営業所は、平成 17 年 1 月 31 日を以って閉鎖となりました。

当営業所は、昭和 50 年 11 月 1 日に暫定手動方式のサービス拡大に伴い開設、特に漁船への船舶電話設置に貢献をされた営業所であった。29 年 3 ヶ月間、OB の方々には、初代所長さんを始め多くの方々の思い出もたくさん残る営業所であったと思います。

今後、当営業所の業務は、北海道支店に引き継がれることとなります。

### 陶芸・スポーツにとご活躍

北九州市在住 奥原修二さん

退職 (1999 年) して今年で 6 年目を迎えました。もうそんな年月が過ぎたのかと、改めて月日の経つのが早く感じています。

現在、夫婦とワンチャン (名前はプリで、ヨークシャテリア・メス 13 歳) と暮らしています。プリを連れて朝・夕の散歩するのが日課になっています。娘 3 人は、徳島、宮崎、鹿児島に嫁ぎ、5 人の孫がいます。

趣味は、ゴルフ・テニス・陶芸で公民館のクラブ活動で卓球・パソコンに参加、その他、旅行等で広く浅く楽しんでいます。

- ・**ゴルフ**…は月に 2~3 回のペースでラウンドしています。7 割位は山口県のゴルフ場でプレーしており、スコアーは常時 2 桁を目標に頑張っています。
- ・**テニス (硬式)**…NTT・OB 会のクラブ (男女合せて約 20 名) に入れてもらい、週 2 回 2 時間、混合ダブルスを行っています。かなりの運動量になりますが、知人も多くいますので話題も弾み、楽しくやっています。

- ・**陶芸**…陶芸教室に入り 5 年目になります。週 1 回、2~3 時間・1 教室 10 名程度 (全生徒数は 50 名)、手ログで行っています。作品は、娘たちの等の注文で、茶碗・皿・鉢・花器ですがなかなか難しいです。年 1 回、5 月の連休に島根県の金町 (浜田市の隣町) にある登り窯に焼きに行きます。その作品を主に毎年 7 月、門司港レトロの旧税関 (一時センツウが入居していた元の松庫ビル) で作品展を開いています。

- ・**卓球**…週 1 回、夫婦で通って 4 年になります。



1 人、10 分程度先生の指導を受けた後、ダブルスの試合を行っています。

- ・**パソコン**…週 1 回 2 時間程度で通って 1 年になります。

- ・**旅行**…海外・国内旅行に暇をみては出かけています。

<カナディアンロッキー  
を背にして>

## \* 東京下町ぶらり散歩 \*

私は現役時代から下町を散歩が好きで良く出掛けた。一番良く出かけた場所が浅草である。

何故浅草かと聞かれると必ずこう答えている。



1、仕事のことを忘れる。2、家庭のことが忘れられる。3、腹から笑えて、睡眠がとれる。が私の健康法でもある。

### < 浅草・雷門 >

それでは、散歩の道順を紹介します。

浅草と言えば「雷門」です。地下鉄を降り地上に上がると、大きな提灯がぶら下がっている雷門が目に入る。門の横には交番と客待ちの人力車が、1～2台停まっている。地方からの観光客が、雷門をバックに写真撮影を行っている。最近では、外国人が多く見られるようになった。

雷門をくぐり仲見世通りを観光客に混じって、

浅草寺に向かう。仲見世通りには、間口1間程度の土産店が両側に並び山門まで続く。特に買うものは無いが見るだけでも楽しいものだ。



### < 仲見世 >

どうも私が3～4才位の頃、祖父に連れてきてもらい、おもちゃをネダった記憶が甦るのかもしれない。ぶらぶら10分程度歩くと浅草寺の山門に着く。山門には、山形から寄贈された大きいワラジがぶら下がっている。浅草寺は、別名浅草観音と呼ばれ、多くの人々に親しまれている。山門をくぐり浅草寺の正面から石段を上り、小銭を取り出し賽銭箱に入れ、家内安全、商売繁盛を祈願するとなんとなくリラックスする。



### < 浅草寺 >

寺を背にして山門をくぐり、10メートル程で、仲見世道を右折して伝法院通りに入り国際通りに向かう。歩くこと7分程度で浅草演芸場に着く。演芸場の入り口には前座さんがハッピーを着て、お客の呼び込みをしている。特に寒い時には気の毒に思える。呼び込みに釣られて、木戸銭(入場料)

2,500円(正月は3,000円)を払い劇場にはいる。1階と2階であるが、私は必ず2階の中央の席を取る。2階は希望する席が取れること。喫煙所が2階の通路にあり愛煙家として都合が良い。その他、寝ていても出演者と直接目が会わず失礼にならないよう配慮も大切にしている。

この演芸場は、午前11:00時に昼の部が開演、午後5時から夜の部が開演する。但し、入れ替えがないので朝から夜まで居ても問題はない。お腹が空けば、売店でサンドイッチ・寿司・飲み物が売っているので困らない。ここが私の睡眠と癒しの場となる。最近、入場者が中年から若いカップル、また、外人さんと多種多様である。小学生の課外授業で入場してきたのには驚かされた。

演芸場の近くの小学校だろうと思うが、粋な計らいをする先生も居るようで楽しくなる。

演芸場で癒され帰り道筋に芋羊かんで有名な「舟和」本店がある。私は必ず立ち寄り芋羊かん、あんこ玉の詰め合わせ(1,000円)を買う。母と家内が好きなので遅く帰っても顔がほころぶからである。家族の癒し方もけして忘れない心配りが大切と思っている。

紙面の都合で埋草として書かして頂きましたが、皆様方も一度出かけて見ては如何でしょうか。

その節は是非感想をお寄せ下さい。



### < 浅草演芸場 >

## \* 事務局・連絡場所を変更 \*

平成17年3月から次のとおり変更しました。

住所 〒107-0052

東京都港区赤坂2-4-5 国際赤坂ビル  
ドコモ・センツウ(株) 総務部内

森 事務局長 携帯電話 090-7198-7046

電話 03-5114-7550 FAX 03-3224-1002

《社友会だより》へ投稿を  
お待ちしております。

「社友会だより」は、皆様の近況報告の広場としてご利用下さい。旅行、ゴルフ、囲碁、将棋、俳句陶芸、家庭菜園、油絵、ボランティア活動等、形式にはこだわりません。

原稿は、編集担当者 大場省平 まで

住所 東京都江戸川区大杉2-3-7 〒132-0022

TEL・fax 03-3651-1289・携帯 090-2166-3290

次号の発行は、総会後の8月を予定しています。